

さっぽろの“いま”を伝え、未来につなげる

さっぽろ 市議会だより

平成29年8月 夏

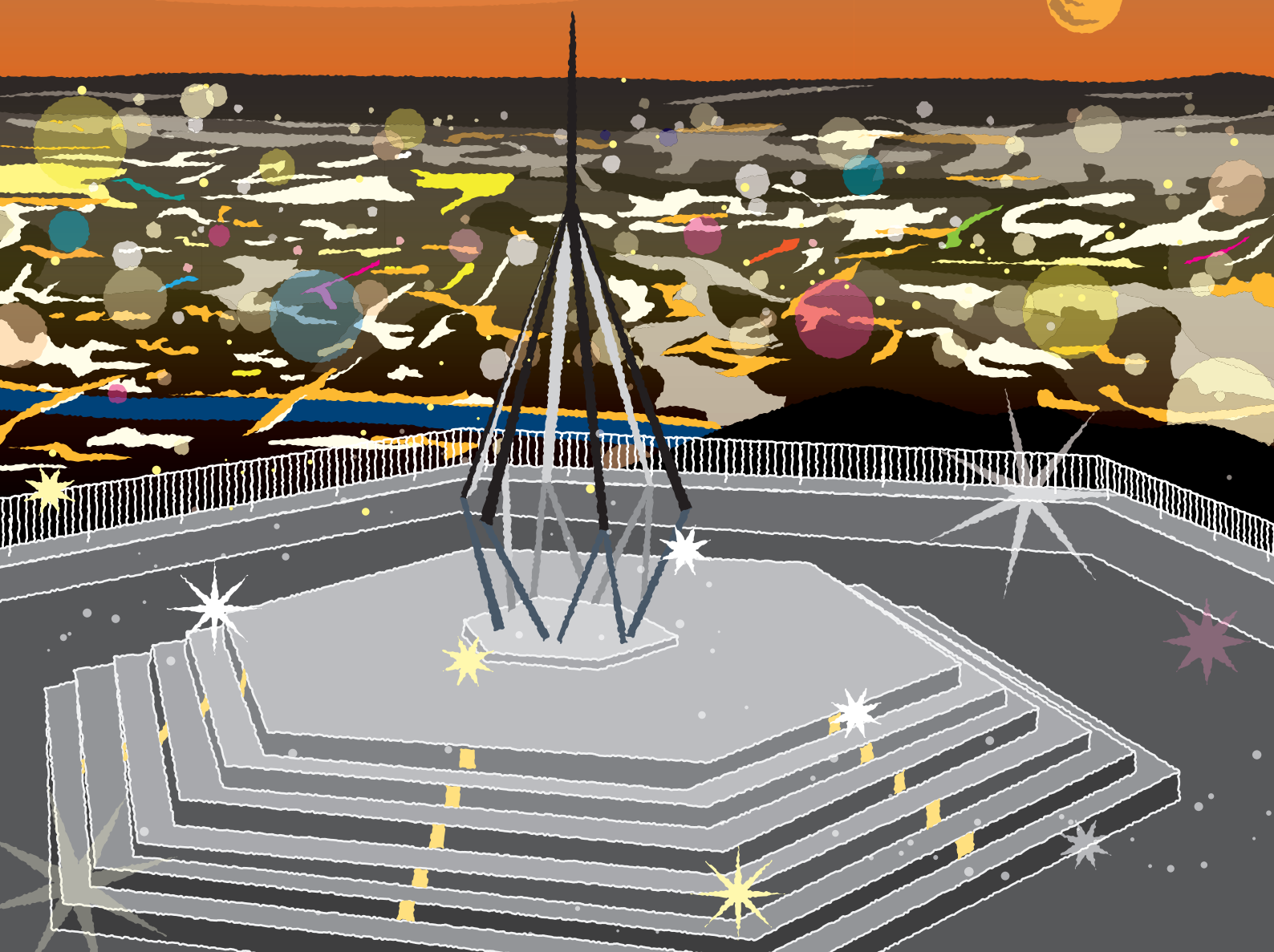
2017 8

平成29年度 一般会計補正予算などを可決

- 可決された主な議案 1
- 可決された主な意見書 2
- 代表質問から 3
- 採決・態度一覧 7
- 調査特別委員会メンバー 8

No.115

表紙イラスト
「藻岩山からのマジックアワー」



第2回 定例会

(5月30日～6月13日)

平成29年度 一般会計補正予算などを可決

平成29年第2回定例会では、平成29年度補正予算や札幌市国民健康保険条例の一部を改正する条例案などの議案27件、諮問1件、意見書8件が全会一致または賛成多数で可決されました。

可決された主な議案 ～本定例会で可決した補正予算案と主な条例案～

平成29年度の補正予算案（3件）

本定例会では、一般会計補正予算8億9,980万円、特別会計補正予算9,900万円、計9億9,880万円の補正予算が可決されました。具体的には、以下の経費などを追加するものです。

- 情報通信技術、いわゆるICTの官民による活用を促進するため、複数の分野にわたる実証実験を行うとともに、そこで得られたデータなどを収集・連携する共通基盤の構築に係る補助を行うための経費
- 円山動物園で夜間などに起きる動物の事故の原因を究明するため、獣舎の一部に24時間監視カメラを設置するための経費
- 平成30年度から実施する介護保険制度改正に対応するシステム改修に伴う経費

主 な 条 例 案

札幌市職員退職手当条例及び 札幌市立学校教育職員退職手当条例の 一部を改正する条例案

雇用保険法の一部改正により失業等給付の給付内容などが変更されたことに伴い、国家公務員について、国家公務員退職手当法で定める、雇用保険法上の失業等給付に相当する「失業者の退職手当」に係る給付内容などの改正が行われました。

それを踏まえ、本市職員における失業者の退職手当について、国の制度に準じた所要の改正を行うものです。

札幌市国民健康保険条例の一部を 改正する条例案

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料算定の基礎となる所得金額の算定方法に係る規定について所要の改正を行うとともに、保険料のうち、被保険者均等割額および世帯別平等割額が減額となる納付義務者の範囲を拡大するものです。

札幌市旧永山武四郎邸及び 札幌市旧三菱鉱業寮条例案

北海道指定有形文化財である旧永山武四郎邸およびこれに付設する旧三菱鉱業寮について、貴重な歴史的資産として後世に引き継いでいくとともに、新たな歴史文化観光施設として市民および観光客の利用を促進することを目的に、公の施設として設置し、当該施設の管理を指定管理者に行わせる場合の管理の基準および業務の範囲を定めるものです。



▲旧永山武四郎邸

可決された主な意見書（概要）

○意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を国会や政府などに要請するため、市議会の意思を決定し、表明するものです。

平成 29 年度 北海道最低賃金改正等 に関する意見書

最低賃金については、政府や労働界、経済界の代表などで構成される「雇用戦略対話」において、できる限り早期に全国最低800円、平成32年までに全国平均1,000円を目指すことと合意されており、北海道地方最低賃金審議会の答申書においても、上記引き上げに向けた目標設定の合意が3年連続で表記されています。

よって、政府に対し、平成29年度の北海道最低賃金の改正に当たって、以下の措置を講ずるよう強く要望するものです。

- ①経済の自律的成長の実現に向け、北海道地方最低賃金審議会による答申を十分尊重し、最低賃金を引き上げること。
- ②厚生労働省のキャリアアップ助成金を有効活用した最低賃金の引き上げを図るとともに、中小企業に対する支援の充実と、安定した経営を可能とする実効ある対策を行うこと。

地方財政の充実・強化を 求める意見書

今後の国家予算などの検討においては、地方自治体が本来必要な公共サービスを確実に提供できるよう、地方財政の充実を図ることが求められています。

よって、国会および政府に対し、以下の事項を実施するよう強く要望するものです。

- ①地方自治体の多様な財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額を確保するとともに、地方財政措置を的確に行うこと。
- ②地方交付税における「トップランナー方式」については、自治体ごとの人口規模や経済規模の差異などを考慮した上で、導入について慎重に検討すること。
- ③公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な期間の確保を行うこと。
- ④財源の地域間の偏在を是正するため、所得税・消費税の地方税移譲など抜本的な解決策の協議を進めるとともに、各種税制を見直す際には、代替財源の確保をはじめ、財政運営に支障が生じることがないよう対応を図ること。
- ⑤「歳出特別枠」および「まち・ひと・しごと創生事業費」などは、現行水準を確保するとともに、恒久財源化に向けて、社会保障や環境対策、地域交通対策などの経常的経費に振り替えること。

代表質問 から

4人の議員の質問と、
市長などの答弁を紹介します。



自由民主党

むらまつ

やすひろ

村松

叶啓 議員

■ 保育所申込数の増加への対応

Q 平成29年4月1日現在の本市のいわゆる
広義の待機児童(注1)数は、昨年から2倍
以上増加しました。これは、保育所の申し込みが
2千人以上増加していることが大きな要因である
と考えられます。女性の活躍をより一層進める上
でも、保育ニーズへの対応は喫緊の課題です。

今回の保育所申込数の増加について、保育ニ
ーズの増加をどのように捉え、今後どのような方向
性をもって対応していくのか伺います。

A このたびの保育所申込数の増加は、女性の
社会進出の機運が高まっていることが背景
にあると認識しています。本市では、働く女性の
割合が低い現状や、女性の活躍を推進している観
点から、今後も保育ニーズは増えていくものと見
込まれます。

こういったことを踏まえ、「札幌市子ども・子
育て支援事業計画」を見直し、ニーズに応じて的
確かつ迅速に保育サービスが提供できるよう取り
組んでいきます。

■ 保育士・保育所支援センターの周知

Q 本市では、昨年10月に「札幌市保育士・
保育所支援センター」を設置し、保育士確
保に向け、潜在保育士の掘り起こしや、保育事業
者と保育士のマッチングなどを行っています。し
かし、保育士を必要としている施設側や、現在働
いていない有資格者の市民に対し、同センターの
存在を周知できなければ、十分な効果が発揮でき
ないと考えます。

そこで、同センターの利用促進に向けた周知と

求職に結び付けるための対策についてどのように
考えているのか伺います。

A 保育士・保育所支援センターが十分な効果
を発揮するためには、市民や事業者に対す
る周知が重要であると認識しています。

これまでのポスターなどの配布に加え、ホーム
ページのさらなる工夫と充実、就職イベントや情
報誌の活用など、さまざまな手法により市民に広
く周知を図っていきます。

また、開設2年目となる今年度は、復職した保
育士の体験談を生かしたきめ細かな相談、支援な
どを行い、復職に当たっての懸念の解消を図るこ
とで、精力的に潜在保育士の掘り起こしに取り組
んでいきます。



■ 無届け有料老人ホームでの高齢者虐待

Q 本市は、無届け有料老人ホームの数が全国
の都市の中でも突出して多いとのことですが、こ
のような施設は人材不足から適切な介護が行わ
れないケースが多く、不適切な介護の発見が遅
れることが懸念されます。

こうした実態に対し、本市としてどのように取
組んでいるのか、また、今後、施設指導を含め
どう対応する考えか伺います。

A 本市では、ホームページや関係機関から情
報を集め、個別に文書照会や現地調査を実
施して、該当施設の把握に努めており、老人福祉
法に基づく届け出をするよう促しています。ま
た、関係者からの通報や情報提供などを契機に調
査を実施し、不適切な運営が確認された場合は、
改善を求める指導を行っています。

今後も引き続き、施設の実態を把握するととも
に、届け出の促進を図り、適切に運営がなされる
よう、指導を強化していきます。

(注1) 待機児童

保育所への入所資格はあるが、保育所不足などのために入所できず、待機して
いる児童。国の統計では、「他に入所可能な保育所があるにもかかわらず第1
希望の保育所に入所するために待機している児童」などは含まれない。

介護職場における人材不足

Q 介護人材の不足が深刻化している状況を踏まえ、その解消に向けてどのような取り組みを行っているのか、また、現在策定中の次期介護保険事業計画の中で、どのような対策を展開していくのか伺います。

A 主な取り組みとして、介護事業者の採用力向上を図るためのセミナーや、合同就職相談説明会の開催、職員の処遇改善に取り組む事業者を支援する相談事業などを実施しています。また、今年度から中学生・高校生を対象として、介護業務のやりがいや魅力について啓発する事業を実施する予定です。

次期介護保険事業計画では、関係団体の意見などを踏まえ、介護人材の増加を図るための環境整備を進めていくなど、より効果的な対策を検討していきます。

その他の質問

- ファイターズの札幌ドーム継続利用
- 商店街による防犯カメラの設置
- 市民から信頼される教職員の育成



民進党市民連合

た い ち

かの 太一 議員

ICT活用戦略の前倒し

Q 情報通信技術、いわゆるICTの発展は、市民生活の利便性向上、ビジネス環境の効率化など、幅広い分野に関わり、社会に大きなインパクトを与えるものです。

「札幌市ICT活用戦略」では、官民のデータを収集・活用する「札幌市ICT活用プラットフォーム」を構築することとしています。本定例会では、そのスケジュールを前倒しするための補正予算が提案されていますが、その理由について伺います。

A 昨年度設置した有識者などによる検討会で、ICT分野は技術の進歩が早いことから、プラットフォームの構築はスピード感をもって進めるべきとの意見がありました。国でもICT活用の取り組みが加速しており、今年度、分野

横断的なデータ利活用によるまちづくりを支援する制度が設けられています。

この機会を逃すことなくプラットフォームの構築をいち早く進めるため、本定例会に補正予算案として計上しました。

戦略推進体制とプラットフォーム

Q ICT活用戦略の推進に当たっては、経済・観光、健康・福祉など広範囲にわたるICTの特性を念頭に、縦割りではなく、各部局の横の連携を図りながら、施策を企画・立案する必要があります。

そこで、各部局が連携して一体的に戦略を推進するために、どのような体制をつくり、どういったプラットフォームを構築していくのか伺います。

A 各部局が連携して一体的に戦略を推進するため、現在、情報政策を統括する庁内横断的な推進体制の構築に向けて、検討を行っています。

また、プラットフォームについては、民間企業などによるデータ活用だけではなく、庁内の複数分野でのデータ連携を容易にすることで、組織横断的な取り組みが促進される共通基盤として構築していきます。

子どもの貧困対策計画

Q 本市は、子どもの貧困対策計画の策定に先立ち、「札幌市子ども・若者生活実態調査」を行い、現状を把握した上で、計画の策定を進めるとしていますが、調査結果を踏まえ、どのような計画を策定していくのか伺います。

A 実態調査の結果から、経済的に困難を抱えている世帯では、心身の健康、学習環境や進学などさまざまな点で制約や困難が生じており、そうした世帯ほど行政や民間の相談窓口や支援策の情報を得られていない傾向があることから、必要な支援につなげていないと想定され、大きな課題と認識しています。

こうした実態を踏まえ、関連施策の拡充や体系化と併せて、切れ目のない支援が確実に届くよう、相談体制の充実や地域との連携強化など、より実効性の高い計画となるよう検討していきます。

■ちくたくの役割と今後の取り組み

Q 札幌市子ども発達支援総合センター「ちくたく」が医療と福祉を統合させた施設として稼働し、3年目に入りました。学校や保育園、幼稚園、その他の福祉施設と連携し、地域で子どもたちを支えるためにちくたくが果たしてきた役割は大きいと考えます。

そこで、ちくたくが果たしてきた役割をどう評価しているのか、また、今後、地域の連携を深め、子どもの療育・支援体制の充実を図るためどのような取り組みを行っていくのか伺います。

A ちくたくでは、子どもの心や体の発達、情緒面、行動面の問題などに対して、医療・福祉の両面から総合的かつ高度な支援を行ってきました。また、「地域支援室」を設置し、子どもの発達に不安を抱える家族などが気軽に相談できる環境づくりに努めるとともに、保健・医療・福祉・教育などの関係機関につなぐ役割も果たしてきました。

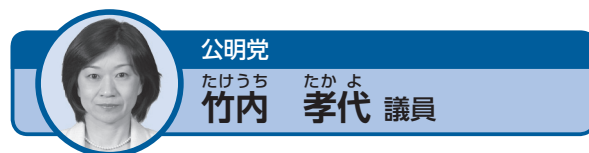
一方、こうした取り組みを進める中で、子どもたちが地域で安心して成長していくためには、地域全体の支援能力の底上げが重要であると改めて認識しました。今後もちくたくが培ってきたノウハウや人的資源を生かし、関係機関に対する支援や人材育成の充実にも努めていきます。



▲札幌市子ども発達支援総合センター「ちくたく」

その他の質問

- 性的マイノリティーへの支援
- ラグビーワールドカップ2019
- 地域包括支援センターの相談機能の強化



■待機児童解消に向けた対応策

Q 増大・多様化する保育ニーズと時代の変化に対応していけるよう、保育所の供給に当たっては、例えば公園への保育所設置など柔軟な方法を取り入れながら進めていくべきと考えますが、いかがか伺います。

A 保育サービスの供給に当たっては、量の増加はもとより多様化するニーズに適切に対応えられるよう、国の動向を注視し、他都市の特色ある取り組みを参考にしながら、本市にふさわしい在り方を検討していきます。

■食品ロス対策

Q 食品ロス削減に向けて、市民が積極的に取り組む機運をどのように高めていくのか、また、未利用食品の活用にも積極的に取り組むべきと考えますが、いかがか伺います。

A 本市では、ごみ減量キャンペーンの実施や市民向け料理講座での周知など、さまざまな取り組みを行っており、今後は、次期一般廃棄物処理基本計画によりさらなる機運醸成に向けた取り組みを進めていきます。

また、未利用食品の活用については、市内のフードバンク(注2)運営団体に対する調査の結果などを踏まえ、引き続き検討していきます。

■今後の難病対策と関係機関との連携

Q 難病の患者に対する医療費助成事務の権限が、平成30年度に北海道から本市に移譲されるのを機に、難病対策についてどのように取り組んでいくのか、関係機関などどのように連携を図っていくのか伺います。

A 主体的に対策を行うに当たり、相談支援の質的充実や申請手続きの利便性向上など、施策の充実にも努めます。

また、平成30年度に難病対策地域協議会を設置する予定であり、医療・福祉分野などの関係機関、北海道難病連、患者団体、北海道と連携し、

(注2) フードバンク

包装の傷みなどで、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通出来なくなった食品を、企業などから寄付を受け生活困窮者などに配給する活動。

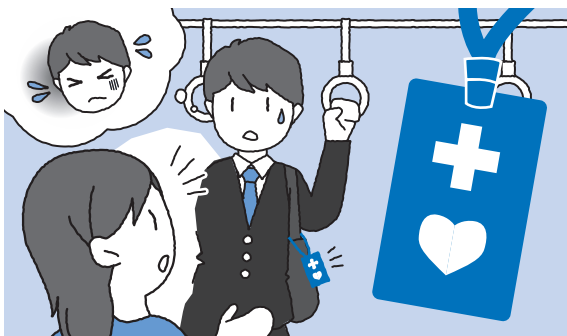
難病患者の療養生活の質の向上に向けた取り組みを進めます。

ヘルプマークの周知方法と導入効果

Q 本市では今年の秋にヘルプマーク^(注3)の配布が開始されますが、市民に対してどのように周知していくのか、また、導入による効果をどのように想定しているのか伺います。

A ポスターや各種広報媒体、出前講座などにより、広く制度の周知を図ります。

また、ヘルプマークの普及により、援助や配慮を必要としている方々への市民理解が深められ、「心豊かにつながる共生のまち」の実現に向けた新たな取り組みになると考えています。



その他の質問

- 女性などの視点を取り入れた災害対策
- 冬季オリンピック・パラリンピック招致
- 清田方面への地下鉄延伸



日本共産党

おおた ひでこ
太田 秀子 議員

介護従事者の専門性の担保

Q 本市は今年度から、要支援者の訪問・通所介護を、各自治体が主体となる総合事業^(注4)へ移行しましたが、先行する自治体には、無資格者がサービスを行えるようにした所もあります。介護従事者の専門性を担保することが重要と考えますが、いかがか伺います。

A 専門職によるサービスに加え、利用者のニーズに応じた多様な担い手などの活用も含め、柔軟な制度設計について、十分検討していきます。

(注3) ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、または妊娠初期の人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人々が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマーク。

介護資格取得費用の助成

Q 介護職員の人材を確保するために、本市でも資格取得などにかかる費用の助成を行うべきと考えますが、いかがか伺います。

A 介護人材の確保については、資格の有無を問わず多様な人材を集めていく取り組みが重要と考えており、関係団体の意見なども踏まえ、効果的な方策を検討していきます。

新興住宅地での安全性・生活環境

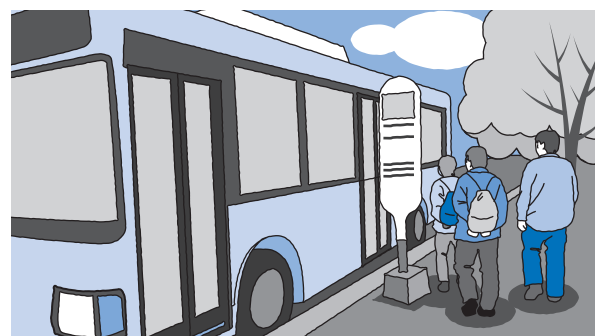
Q 新興住宅地での安全性・生活環境の課題を早急に解決する仕組みをつくる必要があると思いますが、いかがか伺います。

A 区やまちづくりセンターなどが中心となって、きめ細かく地域の情報収集や状況把握に努め、必要に応じて関係機関と連携しながら、町内会などの組織化への支援も含め、適時適切に対応していきます。

郊外地域における市民の足の確保

Q 郊外地域において誰もが安心して暮らせるまちづくりのためには、バス会社と連携するなど市民の足を確保することが求められますが、いかがか伺います。

A 路線バスは地域の足として重要であると認識しており、不採算路線の廃止などにより市民生活に影響が出ないように赤字路線に対する補助などを実施し、市内バス事業者と連携を図りながら市民の足の確保に努めていきます。



その他の質問

- 子どもの貧困対策
- 都心アクセス道路
- 少人数学級の拡充

(注4) 総合事業

改正介護保険法により見直された新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」の略。総合事業では、これまで全国一律の基準で提供されていた要支援者の訪問介護と通所介護が、市町村が行う介護保険制度の「地域支援事業」へ移行するなどの変更がある。

採決・態度一覧

件 名 (議 = 議案 / 意 = 意見書案 / 報 = 報告 / 諮 = 諮問)	結果	各会派の採決態度 (賛成=○/反対=×)							
		自 民 党	民 進 党	公 明 党	共 産 党	改 革 党	無 所 属	市 民 ネ ッ ト ワ ー ク 北 海 道	維 新 の 党
議 1) 平成 29 年度札幌市一般会計補正予算 (第 1 号)	可決	○	○	○	×	×	○	×	○
議 2) 平成 29 年度札幌市介護保険会計補正予算 (第 1 号)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○
議 3) 平成 29 年度札幌市公債会計補正予算 (第 1 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 4・17～20) 損害賠償及び和解に関する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 5) 札幌市職員退職手当条例及び札幌市立学校教育職員退職手当条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 6) 札幌市税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○
議 7) 札幌市体育施設条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	×	○	○	○
議 8) 札幌市旧永山武四郎邸及び札幌市旧三菱鉱業寮条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 9) 札幌市保護施設条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	×	○	○	○
議 10) 札幌市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 11～13) 工事請負契約締結の件 (白石区役所旧庁舎ほか解体 / 栄西小学校改築ほか / 中央小学校屋内運動場棟改築)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 14) 中央中学校改築工事請負契約締結の件議決変更の件	可決	○	○	○	○	×	○	○	○
議 15) 財産の処分の件議決変更の件 (住宅団地用地)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 16) 訴えの提起の件 (差押債権の取立て)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 21) 専決処分承認の件 (損害賠償及び和解)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○
議 22) 町の区域を変更する件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 23) 市道の認定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
議 24) 固定資産評価員選任に関する件	同意	○	○	○	○	×	○	○	○
議 25) 監査委員選任に関する件	同意	○	○	○	×	○	○	○	○
議 26) 農業委員会委員任命に関する件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
議 27) 北海道公安委員会委員推薦に関する件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
諮 1) 人権擁護委員候補者推薦に関する件	推薦することを 適当と認める	○	○	○	○	○	○	○	○
意 1) 平成 29 年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
意 2) 義務教育費国庫負担の制度堅持と負担率 2 分の 1 への復元、教職員の超勤解消、「少人数学級」の実現などに向けた教育予算の確保・拡充と就学保障の充実を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
意 3) ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法期限延長を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
意 4) 山岳遭難者救助対策の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
意 5) 地方財政の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
意 6) ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書	可決	○	○	○	×	×	○	×	○
意 7) 学校給食の無償化を求める意見書	可決	×	○	○	○	○	○	○	○
意 8) 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める意見書	可決	×	○	○	○	○	○	○	○
意 9) 組織犯罪処罰法改正法案の撤回を求める意見書	否決	×	○	×	○	○	○	○	○
意 10) 核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書	否決	×	○	×	○	○	○	○	○
意 11) オスプレイ飛行訓練の中止等を求める意見書	否決	×	○	×	○	○	○	○	×
報 1～5) 平成 28 年度札幌市繰越計算書 (繰越明許費 / 軌道事業会計予算 / 高速電車事業会計予算 / 水道事業会計予算 / 下水道事業会計予算)	—	-	-	-	-	-	-	-	-
報 6～9) 専決処分報告 (訴えの提起 / 調停 / 損害賠償及び和解 / 工事請負契約金額変更)	—	-	-	-	-	-	-	-	-

※自民…自由民主党 / 民進党…民進党市民連合 / 公明…公明党 / 共産…日本共産党 / 改革…改革 / 無所属…無所属 / 市民ネ…市民ネットワーク北海道 / 維新…維新の党

調査特別委員会メンバー

○特別委員会とは、市の特定の問題について審査・調査するために設置される委員会です。
◎委員長／○副委員長

大都市税財政制度・人口減少対策調査特別委員会（22人）

将来にわたり安定した税財政制度を確立するため、大都市における税財源の拡充および税財政制度の諸問題について調査するとともに、今後予想される人口減少に対応するため、関係する本市施策などについて必要な事項を調査することを目的に設置しました。

◎佐々木 みつこ	○林 清 治	武 市 憲 一
勝 木 勇 人	五十嵐 徳 美	長 内 直 也
よこやま 峰子	北 村 光一郎	中 川 賢 一
大 嶋 薫	三 宅 由 美	峯 廻 紀 昌
山 口 かずさ	松 原 淳 二	成 田 祐 樹
國 安 政 典	好 井 七 海	竹 内 孝 代
小 形 香 織	太 田 秀 子	坂本 きょう子
石 川 佐和子		

冬季五輪招致・スポーツ振興調査特別委員会（22人）

冬季スポーツをけん引する国際都市として、さらなる飛躍を図るため、オリンピック・パラリンピック招致に向けた取り組みとともに、「スポーツ元気都市さっぽろ」の実現に向け、スポーツ振興に関する本市施策などについて必要な事項を調査することを目的に設置しました。

◎しのだ 江里子	○小 竹 ともこ	宮 村 素 子
高 橋 克 朋	こんどう 和雄	宗 形 雅 俊
飯 島 弘 二	伴 良 隆 美	松 井 村 隆 一
畑 瀬 幸 透	小 野 正 たけし	恩 岩 崎 道 隆
桑 原 俊 史	中 村 智 久	前 川 川 浦
本 郷 理 智子	小 田 中 啓 介	松 浦
伊 藤 山 真		

総合交通調査特別委員会（22人）

本市を取り巻くさまざまな交通課題に対応するため、都市交通ネットワークの強化に関する本市施策などについて必要な事項を調査することを目的に設置しました。

◎福 田 浩太郎	○平 岡 大 介	三 上 洋 右
鈴 木 健 雄	細 川 正 人	小 須 田 悟 士
こじま ゆ み	阿部 ひであき	村 松 叶 啓
村 山 拓 司	福 士 勝 人	ふじわら 広昭
長谷川 衛	小 川 直 人	村 上 ゆうこ
かんの 太 一	涌 井 国 夫	丸 山 秀 樹
わたなべ 泰行	村 上 ひとし	池 田 由 美
堀 川 素 人		

永年勤続議員への表彰状を伝達

去る6月13日、本会議場において、永年勤続議員に係る表彰状の伝達式が行われました。

これは、5月24日に東京都で開催された全国市議会議長会定期総会において、札幌市の議員が在職10年以上の表彰を受けたことによるものです。表彰された議員は以下のとおりです。



▲表彰状伝達式の様子
(山田一仁議長から表彰状を受け取る長谷川衛議員)

●在職10年以上

飯 島 弘 之 議員	小 須 田 悟 士 議員	宗 形 雅 俊 議員
小 形 香 織 議員	佐々木 みつこ 議員	山 口 かずさ 議員
小 川 直 人 議員	しのだ 江里子 議員	よこやま 峰子 議員
こじま ゆ み 議員	長谷川 衛 議員	

山田一仁議長が全国市議会議長会の会長に就任

去る5月24日、全国市議会議長会の第93回定期総会が東京都内で開催され、安倍晋三内閣総理大臣をはじめとする多数の来賓の方々が出席される中、第62代会長に札幌市議会の山田一仁議長が満場一致で選任されました。

全国市議会議長会は、全国の市および東京都特別区を合わせた814市区の議長を会員とする地方6団体の一つで、本市の議長が会長に就任するのは平成5年～平成7年の見延順章議長以来22年ぶりです。



▲総会の議長として議事を進行する山田議長

議員の資産などを公開しています

「政治倫理の確立のための札幌市議会の議員の資産等の公開に関する条例」に基づいて、議員から提出された次の報告書を公開しています。

①資産等補充報告書

(議員本人の土地や建物、預貯金などの資産の増加分についての報告書)

②所得等報告書

(議員本人の所得についての報告書)

③関連会社等報告書

(議員が役員や顧問などとして、報酬を得ている会社やその他の法人についての報告書)

●閲覧時間

午前8時45分～午後5時15分
(土曜、日曜、祝休日を除く)

●閲覧場所

市役所本庁舎16階 議会事務局

●お問い合わせ

議会事務局総務課 電話：(011)211-3162

平成29年第3回定例会

審議日程

下表のとおり、9月20日から10月31日までの会期42日間で開かれ、各会派の代表質問は9月26日から3日間の予定です。

月日	審議日程
9月20日(水)	本会議 招集日、市長提案説明など
9月26日(火)	本会議 契約案件など議決、代表質問
9月27日(水)	本会議 代表質問
9月28日(木)	本会議 代表質問、議案付託【決算特別委員会①】
10月 2日(月)	(休会) (常任委員会)
10月 4日(水)	本会議 補正予算など議決
10月 6日(金)	(休会) 【決算特別委員会②】
10月11日(水)	(休会) 【決算特別委員会③】
10月13日(金)	(休会) 【決算特別委員会④】
10月17日(火)	(休会) 【決算特別委員会⑤】
10月19日(木)	(休会) 【決算特別委員会⑥】
10月23日(月)	(休会) 【決算特別委員会⑦】
10月25日(水)	(休会) 【決算特別委員会⑧】
10月27日(金)	(休会) 【決算特別委員会⑨】
10月31日(火)	本会議 最終日

※会議はすべて傍聴できます。日程などは変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

～決算特別委員会 審査日程～

	第1部	第2部
①	副委員長の互選など	
②	会計室/財政局/議会事務局/選挙管理委員会/人事委員会/監査委員	建設局
③	総務局/危機管理対策室	病院局/保健福祉局
④	教育委員会	保健福祉局
⑤	市民文化局	農業委員会/経済観光局
⑥	まちづくり政策局	交通局/スポーツ局
⑦	消防局/環境局	都市局
⑧	子ども未来局	下水道河川局/水道局
⑨	討論および採決	



インターネット中継をご利用ください

議会情報を速やかにお伝えするため、本会議、予算・決算特別委員会のインターネット「生中継」「録画中継」を実施しています。

中継は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレット型端末でも視聴できます。

傍聴できない方も、生中継または録画で会議をご覧いただくことができますので、市議会ホームページから、ぜひ一度ご覧ください。

札幌市議会ホームページアドレス

<http://www.city.sapporo.jp/gikai/>

